

にゅうようじきょういくそうだんつうしん

あいあい



令和7年10月27日
乳幼児教育相談通信第4号
東京都立葛飾盲学校長
竹内大吾



公園の木々が少しずつ色付き始め、秋の気配がますます深まるこの頃。外に出ると、大きく深呼吸したくなるような、気持ちの良さを感じる季節です。

今号では、～見えない、見えにくいお子さんを育てるヒント・食事面～に関する内容についてお伝えします。さらにお聞きになりたいことがあれば、相談の際にお尋ねください。

(文責：丹羽弘子)

～見えない、見えにくいお子さんを育てるヒント・食事面～

見えない、見えにくいお子さんは、見てまねることが難しいです。

そのため、食事、排せつ、着替えなど、大人が手を添えて一緒に触り、言葉をかけ教えていくことが大切です。晴眼のお子さんに比べて成長がゆっくりに見えることが多いかもしれませんが、丁寧に関わることでできることが増えていきます。焦らず、お子さんのペースに合わせて進めていきましょう。

<「食べない」「ぱっかり食べ」などの悩み>



見えない、見えにくいお子さんは、味覚や食感に敏感なことが多く、「思うように食べてくれない」「○○しか食べない」などの悩みが多く寄せられます。無理強いはず、お子さんの好きな味、食感を見つけていきましょう。なかなか進まない場合、小児科や療育の先生に、そしゃくや嚥下の機能について相談してもよいと思います。

その上で、心掛けたいことは、みんなで食べる楽しい食事(だんらん)です。安心の中で食べたい気持ちを高めていきたいです。



<食べる練習はどんなふうに？>

まずは、手づかみ食で食べる練習をしましょう。ベタベタするおかずを触りたがらないときは、無理強いせず、スプーンで食べさせてあげましょう。食べさせてあげるときは、何を食べるか言葉で伝えて、スプーンには、本人がモグモグゴックンできる量をのせましょう。口元に差し出すタイミングも早すぎず、しっかりゴックンできてからにしましょう。

自分で食べることに慣れてきたら、大人が手を添えて、一緒にスプーン、フォークを持って食べてみましょう。手の動かし方を伝えるために、大人はお子さんの後ろから介助するといいでしょう。

今号では、見えない、見えにくいお子さんの生活面でのこと、食事に関するヒントについて紹介させていただきました。お子さんのペースを大切にしながら、無理のないかたちで食べる楽しさを育てていきましょう。安心できる食卓の中で、「食べたい」という気持ちが少しずつ育っていくことを見守りたいですね。もし、やっていく中で、不安なこと、分からないことがありましたら、いつでもお伝えください。一緒に考えていきましょう。次回は「トイレトレーニング」「着替え」に関する内容をお伝えします。



- ★ 個別相談は、事前予約制とさせていただきます。1回の相談時間は1時間です。
御希望に応じて、視機能や発達に関する評価も実施いたします。
- ★ グループ相談は、0歳から2歳児（プレ年少）までとさせていただきます。
毎週水曜日10時45分より開催していますが、学校の予定でお休みなることもあります。
必ず前日までに事前の御連絡をお願いいたします。
- ★ 御来校の際は記名と名札の着用をお願いします。安全のため上履きを御持参ください。

【グループ相談の予定】 水曜午前：10時45分より1時間

期日	曜日	行事名	場所	内容
11月5日	水	音楽あそび	幼稚部リズム室	季節の音楽を親しんでみましょう。
◎ 11月12日	水	※ 学校の都合で、グループ相談はお休みです。		
11月26日	水	音楽あそび	幼稚部リズム室	季節の音楽を親しんでみましょう。
12月3日	水	感触あそび	幼稚部	様々な感触を味わってみましょう。
12月10日	水	感触あそび	幼稚部	様々な感触を味わってみましょう。

※活動内容は変更することがあります。

【参加できる行事】 ※別途、お知らせをお渡しいたします。



期日	曜日	内容	講師・担当者
11月19日	水	〈第5回・幼稚部パパママ会〉 前半：音楽セッション「うたってあそぼう」 後半：講演「わたしの歩んできた道」	本校卒業生 社会人・音楽ボランティア 吉田 洋子さん
12月17日	水	〈保護者体験学習・第6回幼稚部パパママ会〉 社会自立に向けた歩行指導について	東京視覚障害者生活支援センター所長 石川 充英氏

【お問合せ先】 東京都立葛飾盲学校 電話：03-3604-6435 FAX:03-3602-9096
副校長：近藤 美紀 担当主幹：丹羽（にわ）弘子